



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理総務グループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,313	9.1	9	—	19	—	0	—
27年3月期第3四半期	2,120	2.6	△10	—	△0	—	△8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.03	—
27年3月期第3四半期	△0.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,803	2,147	76.6
27年3月期	2,668	2,168	79.8

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 2,147百万円 27年3月期 2,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,145	8.6	20	△54.3	34	△40.4	△13	—	△1.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	11,368,541 株	27年3月期	11,368,541 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	432,407 株	27年3月期	431,447 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	10,936,263 株	27年3月期3Q	10,937,173 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
5. 補足情報	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方、中国経済の減速懸念や中東情勢の緊迫化など、景気下振れリスクが存在しており、個人消費については、消費の基盤となる個人所得の水準は小幅な改善に留まる等、先行きは依然として不透明な状況となりました。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大期間と位置付けており、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめてまいりました。

また新ブランド「Super Recycle Shop WATTMANN」（スーパーリサイクルショップ ワットマン）のもと、前期に引続き、買取・販売する商品種類の拡充等による更なるお客様サービスの向上、コストダウンによる経営効率の向上、及び新規出店等による企業成長を目指しております。

営業政策面では将来の成長に向けて、売筋ジャンルの強化、積極的な買取と査定精緻化を進め、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、早期売価変更と売場への継続的な商品供給を行い商品鮮度を維持するとともに、お客様目線の売場づくりを進め、お客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額・率の向上に努めてまいりました。更に生産性向上施策による効率化、低コスト化により、営業利益額・率の向上を目指しました。

店舗政策面では、当第3四半期累計期間において、ワットマンテック・ワットマンスタイル相模原中央店を開店し、ワットマンテック・ワットマンスタイル綾瀬店を移設増床しワットマンテック・ワットマンスタイルPAT綾瀬店を開店いたしました。その結果、17事業所39店舗となっております。

当第3四半期累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ1億93百万円(9.1%)増収の23億13百万円となりました。既存店の売上は、業績回復により前年同四半期と比べ70百万円(3.9%)増収の18億79百万円、開閉店の売上も、店舗数増加と新店業績が伸びた事により1億22百万円(39.6%)増収の4億33百万円でした。

商品カテゴリー別の売上高では、新店とネット通販の増収により電化製品等が前年同四半期と比べ64百万円(16.5%)増収の4億54百万円、服飾等が91百万円(11.9%)増収の8億56百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が23百万円(3.3%)増収の7億52百万円、その他が13百万円(5.9%)増収の2億49百万円となりました。

売上総利益は、既存店は売上増により、前年同四半期と比べ47百万円(3.7%)増益の13億25百万円となりました。開閉店も売上高が増加したため、前年同四半期と比べ79百万円(37.6%)増益の2億89百万円となりました。その結果、全社で1億26百万円(8.5%)増益の16億14百万円となりました。売上総利益率は69.8%と前年同四半期と比べ0.4ポイント減少いたしました。

商品カテゴリー別の売上総利益は、電化製品等が前年同四半期と比べ39百万円(15.0%)増益の3億2百万円、服飾等が60百万円(10.6%)増益の6億33百万円、パッケージメディアは16百万円(3.6%)増益の4億84百万円、その他が9百万円(4.9%)増益の1億94百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、新店舗開店に伴い消耗品費等及び、人件費、地代家賃、支払手数料等が増加いたしました。この結果、既存店で前年同四半期と比べ10百万円(0.9%)増加の12億6百万円、開閉店で95百万円(31.7%)増加の3億98百万円、全社合計で1億6百万円(7.1%)増加の16億5百万円となりました。

この様に既存店は前年同四半期と比べ36百万円(45.3%)増益の営業利益1億18百万円を達成しました。一方開閉店は新店開店により16百万円減益の営業損失1億8百万円、全社では20百万円増益の営業利益9百万円となりました。経常損益は前年同四半期と比べ20百万円増益の経常利益19百万円となりました。

四半期純利益は綾瀬店の増床移転に伴う減損損失9百万円等の計上があったため、前年同四半期と比べ8百万円の回復にとどまり323千円となりました。

なお、平成26年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて28百万円増加し、12億36百万円となりました。これは主に現金及び預金が29百万円減少、売掛金が12百万円、商品が53百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1億5百万円増加し、15億67百万円となりました。これは有形固定資産が91百万円増加、敷金及び保証金が13百万円それぞれ増加したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ1億34百万円増加し、28億3百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて94百万円増加し、4億5百万円となりました。これは主に、買掛金が17百万円、短期借入金が50百万円、その他流動負債が42百万円それぞれ増加し、未払法人税等が16百万円、賞与引当金が7百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて61百万円増加し、2億50百万円となりました。これは主に、長期借入金が48百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ1億55百万円増加し、6億56百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ21百万円減少し、21億47百万円となりました。これは主に、利益剰余金が21百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年1月29日付にて「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	641,644	612,626
売掛金	33,698	46,685
商品	385,563	439,072
その他	146,451	137,947
流動資産合計	1,207,358	1,236,331
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	366,174	364,964
土地	382,457	382,457
その他(純額)	87,960	180,219
有形固定資産合計	836,592	927,641
無形固定資産		
投資その他の資産	24,114	30,295
投資有価証券	65,266	63,039
敷金及び保証金	504,661	518,564
その他	30,814	27,502
投資その他の資産合計	600,742	609,106
固定資産合計	1,461,449	1,567,043
資産合計	2,668,807	2,803,375
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,716	25,088
短期借入金	-	50,000
1年内返済予定の長期借入金	58,700	66,320
未払法人税等	20,981	4,769
賞与引当金	12,000	5,000
その他	211,939	254,465
流動負債合計	311,337	405,643
固定負債		
長期借入金	80,240	128,845
退職給付引当金	12,271	17,002
その他	96,385	104,632
固定負債合計	188,896	250,479
負債合計	500,234	656,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	132,761	111,211
自己株式	△57,379	△57,512
株主資本合計	2,257,116	2,235,433
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,183	7,545
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
評価・換算差額等合計	△88,542	△88,180
純資産合計	2,168,573	2,147,252
負債純資産合計	2,668,807	2,803,375

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,120,034	2,313,236
売上原価	631,825	698,567
売上総利益	1,488,209	1,614,669
販売費及び一般管理費	1,498,910	1,605,136
営業利益又は営業損失(△)	△10,700	9,533
営業外収益		
受取利息	3,649	2,903
受取配当金	1,185	1,262
受取手数料	5,057	5,034
雑収入	5,620	5,840
営業外収益合計	15,512	15,040
営業外費用		
支払利息	2,344	1,649
雑損失	3,283	3,282
その他	116	236
営業外費用合計	5,744	5,168
経常利益又は経常損失(△)	△933	19,404
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,249
特別利益合計	-	2,249
特別損失		
投資有価証券売却損	-	356
固定資産除売却損	1,780	1,955
減損損失	-	9,539
特別損失合計	1,780	11,851
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△2,713	9,803
法人税等	5,700	9,479
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,413	323

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第3四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	184,519	24.5	128.0
	服飾等	257,811	34.3	116.3
	パッケージメディア	251,338	33.4	96.0
	その他	58,407	7.8	103.6
合計		752,077	100.0	109.9

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	454,150	19.6	116.5
	服飾等	856,956	37.0	111.9
	パッケージメディア	752,350	32.6	103.3
	その他	249,778	10.8	105.9
合計		2,313,236	100.0	109.1

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。